

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ビューティフルネーム		
○保護者評価実施期間	2025年11月10日		～ 2025年 11月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 11月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行事が豊富であること	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの行事や体験学習を通じて、社会性や自立心を養う場を提供しています。 生活介護事業や同企業内の高齢者GHとの共同での活動も行い、体験の場を増やすようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の季節の工作を行い、四季や子供たちの興味を拡げる機会を設けています。 外出活動を多く設定し、川遊びや初詣など季節に応じた外出を実施しています。
2	食育を大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> 毎月テイクアウトデーを設け、食事への興味関心を持ってもらう場を設けています。 おやつレクや調理レクを定期的に行い、自身で調理をする機会を設けています。メニューも子供たちの意見を取り入れながら決めていきます。 春から夏にかけて畑を整備し、収穫した野菜を食べる機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理を通して日々の食事への感謝や食事の大切さについて学べるように支援を行っています。 テイクアウトデーでは、今後イトインも挑戦していく予定です。
3	利用児童が来所を楽しみにしている	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が安全安心な場所だと認識してもらえるように日々努めています。 利用児童の特性や性格を配慮し、支援を行っています。 学校等関係機関との情報共有を適宜行うように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、皆様に安全安心な場所として認識してもらえるように日々支援を行います。また、活動内容について適宜見直しを行い、より楽しんでもらえるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動室等のスペースが広くない事	<ul style="list-style-type: none"> 個別の空間の配慮が構造上難しい状況で現在パーティション等を活用して空間を使用しています。 曜日によっては利用児童の増加に伴い、手狭に感じる状況になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民センターや図書館、地域の公園などの活用を行います。
2	家族支援の場面が少ない事。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会や保護者向けの研修会等が設定されておらず、保護者同士が交流できる場がない事。 個別に家族支援は行っていますが、不十分な点も多く今後より家庭との連携を強化できるように努めてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭での困りごとや支援の相談等について個別に対応していますが、連絡手段として必要に応じてLINE等も活用を検討しています。
3	保育園などとの交流や障害のない子どもと活動する場がないこと。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の情報不足や時間的制約により計画が立てにくい事。 安全面の配慮等が難しく、また、障害のある児童との交流について関係者間の理解が進んでいない状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事への参加から始め、共生社会の実現に向けた活動を推進します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ビューティフルネーム	公表日	2026年 3月 15日
		利用児童数	2026年 11月 29日 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>				法令を遵守したスペースを確保しておりますが、ご不便をおかけしているところもあるかもしれません。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>				児童の人数や活動に応じて適切な職員配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>				空気清浄機の使用や定期的な消毒を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>				毎月のミーティングを行い、活動内容の検討をしています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	<input type="radio"/>				現在このような機会を設けておりません。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>				見学时、契約時に説明書をもとに説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>				児童発達支援計画を用いて説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		<input type="radio"/>			個別では相談対応を受けていますが、集団でのプログラムは実施しておりません。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<input type="radio"/>				送迎時や連絡帳で様子を伝えるようにしています。また、電話やLINEを活用して共有を行い、支援に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>				集団での対応は実施していませんが、必要に応じ個別に対応を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		<input type="radio"/>			今後検討して参ります。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<input type="radio"/>				相談等については迅速に対応をして参りたいと思います。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	<input type="radio"/>					毎月のおたよりに加え、年2回の広報紙とインスタグラムにてお伝えしています。アンケートはホームページに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	<input type="radio"/>					策定を行い、契約時等に説明を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	<input type="radio"/>					定期的な避難訓練の実施や研修を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	<input type="radio"/>					事故等があった際は、速やかに保護者への連絡を行います。また、救急情報提供書を作成しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	<input type="radio"/>					安心感をもって通ってもらえるように今後も精進してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	<input type="radio"/>					今後も精進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	<input type="radio"/>					今後も精進してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ビューティフルネーム	公表日	2025年 3月 15日
------	------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しておりますが、パーティションなどでスペースを区切り、スペースの構造化を行っています。	法令を遵守したスペースを確保しておりますが、ご不便をおかけしているところもあるかもしれません。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法定の人員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		パーティションなどを活用し、遊ぶスペースと学習スペース、個々の活動スペースなどの構造化を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的に消毒、おもちゃの点検等を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		個室は準備していますが、1室しかないので、複数名が必要とする場合は、パーティションを使用しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に話し合いの場を設け、業務改善に繋がるように努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度アンケートを実施し、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月事業ミーティングを開催しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		定期的の実施を行っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部研修や外部研修への参加を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画に基づいて支援のプログラムを職員間で相談して作成をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		フェイスシートやアセスメントシートを活用し、作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		適宜ミーティングを行い、職員間での共通理解を図っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当者会議を実施し、職員間で検討を重ね、支援計画を作成、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントツールを使用しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援は、5領域の支援項目を設定しています。家族支援は必要に応じて訪問等を行い、関係機関と協力しながら支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームでの立案を実施しています。また、生活介護事業と合同でのプログラムも、実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的なモニタリングや毎月の事業ミーティングを行い、活動内容の工夫を行っています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		必要に応じて個別活動と集団活動を組み合わせながら支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日の打ち合わせを事業開始前に実施し、役割や利用児の状況等について把握をするようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		ミーティング内で検証を行い、情報共有を行うように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日の記録を作成し、支援の検証、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度のモニタリングを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加をしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携協議を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援事業所に協力していただきながら、実施をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		学校に協力していただきながら、実施をしています。必要に応じ、入学前に学校に訪問を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		関係機関との連携を図るよう心がけています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在このような機会を設けてはおりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳等を使用し適宜行うようにし、共通理解を心がけています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			個別での対応は実施していますが、全体研修等は実施できておりません。今後検討して参ります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		面談時等に説明を行うようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時やモニタリング時、日々の送迎等の中で保護者の方へ要望を伺っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時に書面と口頭で説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別に相談に応じ、対応を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後検討して参ります。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情解決窓口、責任者を設置しています。迅速かつ適切に対応できるように努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月のおたより、年2回の広報紙、Instagramでの発信を行っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			鍵付きのキャビネットに保管をしています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			口頭のみでなく、書面、LINE等を使用しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民招待等は行っていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各マニュアルを作成し、適宜訓練を実施しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPを策定しており、適宜避難訓練を実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			アセスメント時に聞き取りを行っています。また、毎年救急情報提供書の作成を実施しています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			アセスメント時にアレルギーについての聞き取りを行っています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				ヒヤリハットや事故報告を作成し、職員会議等で報告の場を設け、周知に努めています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				怪我や事故等の際は速やかにご家族に連絡し、看護師の指示のもと通院等を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				ヒヤリハットを作成し、職員会議等で報告の場を設け、周知に努めています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				虐待防止委員会、身体拘束防止委員会の設置を行い、適宜研修やチェックリスト等の実施しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定をしています。ご家族への説明を行い、了承を得た上で計画に記載しています。	